

中央卸売市場見学ツアー開催



申込受付中！
お待ちしております！



今般提案されている「市政改革プラン 2.0」では、環境科学研究所と府立公衆衛生研究所の独法・統合化が検討されていることに加え、「市場」の**実質民営化（指定管理者制度の導入）**が提案されています。

現在、中央卸売市場を含め、3つの市場には食品衛生検査所があり、食品監視員が早朝のセリから終了まで毒漁の撤去や添加物チェック等、食品の監視を行っており、流通において重要な役割を果たしています。市政改革プラン 2.0 では、「安全・安心な生鮮食品を安定的に供給するという公的インフラとしての役割がある」と明記されています。しかし、指定管理制度の導入は、公の責任放棄につながりかねず、プランの説明とも矛盾しており、大阪府下全域の食の安全安心を脅かすものです。

私たち保健所を守る大阪市民の会は、「市場」の民営化＝指定管理制度の導入の中止を求めるとともに、市民（消費者）の食生活に密接な関連をもっている「市場」の機能や役割の実態について知るために見学会を企画しました。

日時

2017年**3**月**14**日（火）8:45～

場所

大阪市中央卸売市場 本場
〒553-0005 大阪市福島区野田 1-1-86
TEL 06-6469-7955

集合場所

大阪市中央卸売市場 中門前
ホームページでご確認下さい。

※事前申込先（FAX：06-6354-7228）

大阪自治体問題研究所（藤永）宛てに FAX でお申込下さい。

〒530-8201
大阪市北区中之島 1-3-20 大阪市役所 B1
大阪市市役所労働組合内
TEL 06-6208-8798
「保健所を守る大阪市民の会」

